

2 カッピングはどんな症状におすすめか？

東洋医学では昔から汚れた血液「汚血、（おけつ）」を体内から取り除くことは万病の予防につながると

考えられて、様々な症状にカッピングが用いられてきた。

主に下記症状の人におススメである。

- ・朝起きるのがつらい
- ・生理痛がひどい
- ・腰痛、肩こり
- ・慢性的な冷え性
- ・足腰のむくみ
- ・アトピーや花粉症などのアレルギー持ちの人

上記以外の症状にも様々な場面で活用されています。



3 カッピングの種類

カッピングには色々な種類があります。表面の脂肪の厚さや体質によっても効果的な方法が違います

火カン法・・・ガラスの容器にアルコールの火を残留させ、その吸引力を利用する方法

針カン法・・・ツボの位置に針で出血させたあとに真空容器を肌に吸い付かせて汚血を吸い出す

走カン法・・・カッピング容器の接触面にオイルなどを塗っておき皮膚の上を移動させて刺激する

一番効くとされるのが「走カン法」 吸い玉を動かす施術

5 カッピング跡、血の色で分かること

カッピングの後の色素反応とは病気の元である汚血の様子が皮膚表面に引っ張りだされたものと見ることが出来ます。

固定カッピングの後、そこには丸い跡が付きます。その場所と色でどの程度身体の機能低下があるか見当がつけれます。

